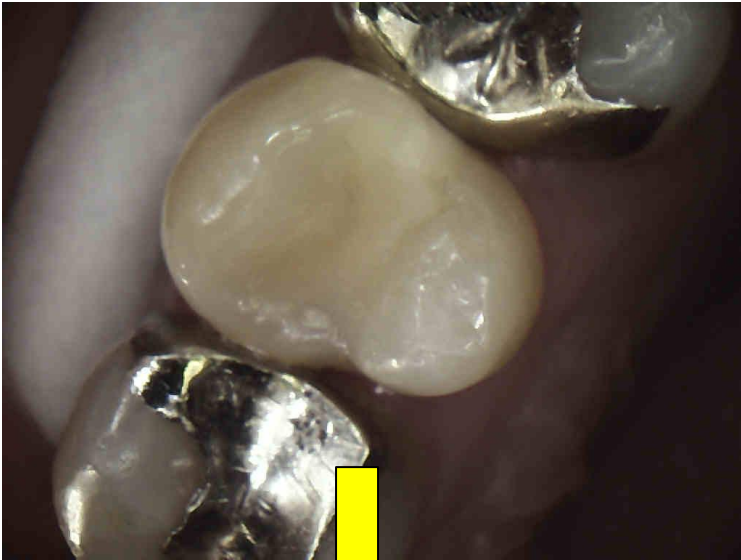


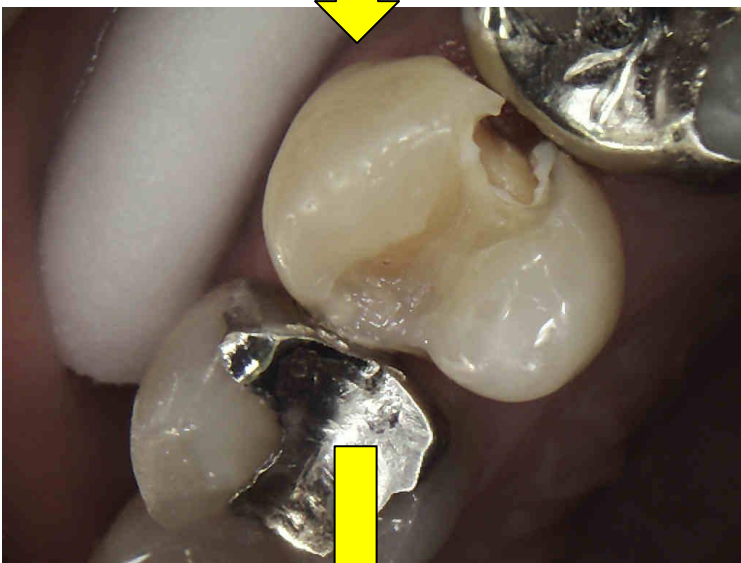
<歯型を採って詰める治療の修復過程①>



術前の歯

もともと白いプラスチックの詰め物がしてある歯です。

一見すると何も無いように見えるのですが、実は・・・



実は・・・

実は、歯と歯の隣どうしのところがむし歯なんです！！！！

少し削るだけでもう穴が！！

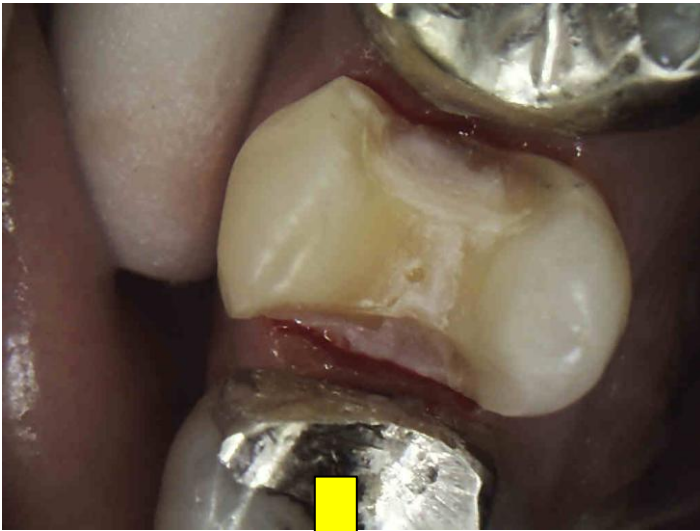
こんなの気がつきます？



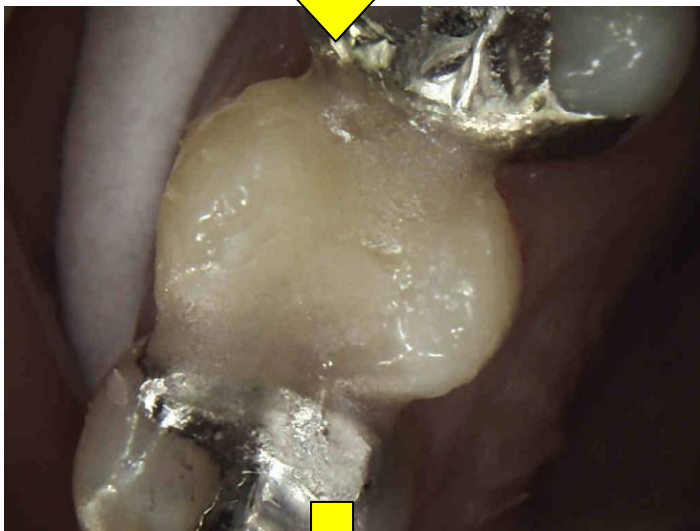
私は気がつくんですね、プロですから！！むし歯が深かったので、かなり歯を削りました。歯としては相当のダメージです。しかし、神経は抜きたくありません。神経ぎりぎりまでむし歯を削りました。

②へとつづく

<歯型を採って詰める治療の修復過程②>



神経ぎりぎりまで削ったので、フッ素を徐放する材料の中に引きました（白い部分）。これで綺麗にならしたあと歯型をとり、次回詰め物をセットします。



次回、詰め物をセットするまでの間、食べ物が中に入らないよう樹脂状の材料で「仮のふた」をします。ちなみにこんなにむし歯だらけだったのに、痛み等の症状は全くありません（むし歯は自覚症状ありません）。



白い詰め物をセットした直後です。詰め物をセットしたセメントが固まったら、磨いてかみ合わせを調整後、終了です。むし歯が深かったののでしばらくしみたりするでしょう。経過観察します。

詰め物をするといっても、これだけのことをします。歯にはよくありません。削らなくてすむよう、予防をしましょう!!!